



### 第3回 ミュージアム・メンバーシップのススメ編

第3回となる今月号では再びミュージアムを取り上げます。こう書くと、アレっと思われる読者もいらっしゃるかもしれませんが。先月号で「大概の博物館は1回訪れれば十分」と書いたばかりだからです。でも、ヒューストンにおいては例外があります。巨大すぎて一回では全てを見尽くせない The Museum of Fine Arts, Houston (MFAH) と The Houston Museum of Natural Science (HMNS) の2つです。この2つは企画展も頻繁に開催しているため、数ヶ月おきに再訪する楽しみがあるのです。

年に数回訪れることを考えると、年会費を払えば何度でも入場できるメンバーシップがお買い得に思えてきます。表1にSpace Center Houston (SCH)も加えた会員料金比較表をまとめています。駐車料金の割引なども考慮すると、大体年2~3回の訪問で元が取れることが分かります。

表1. 博物館等の会員料金比較

	入場料金		年会費			その他の主な特典
	大人 (注1)	子供 (注1)	大人 (注1)	子供 (注1)	ファミリー	
MFAH	\$19 (注2, 3)	\$12 (注2, 3)	\$70	\$40 (学生)	\$115	駐車料割引、事前内覧会
HMNS	\$25 (注2, 4)	\$16 (注2, 4)	\$65		\$115	駐車場無料クーポン
SCH	\$29.95 (注5)	\$24.95 (注5)	\$55		\$149	駐車無料、優先レーンあり

(注1) 大人、子供の定義は施設ごとに異なります。本表の注および各施設のホームページなどを参照ください。シニア割引もあります。

(注2) 常設展入場料金。特別展やシアター、別館等の入場には別料金が必要。

(注3) 19歳以上が大人、13-18歳が子供。12歳以下は無料。

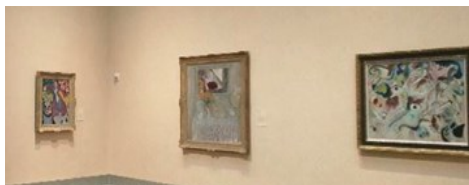
(注4) 12歳以上が大人、3-11歳が子供。2歳以下は無料。

(注5) 12歳以上が大人、4-11歳が子供。3歳以下は無料。

メンバーシップの紹介に続いてMFAHとHMNS、2つのミュージアムについて詳しく見ていきましょう。

#### The Museum of Fine Arts, Houston

まずはMFAHからです。ダウンタウンの中心部、Museum Districtの南端に位置しており、Audrey Jones Beck Building, Caroline Wiess Law Building, The Nancy and Rich Kinder Buildingという3つの建物に別れて、およそ7万点という作品を所蔵、展示しています。古代ギリシアの陶器からルネサンス以降の西洋絵画や彫刻、アメリカ美術、アジアの美術・工芸品に加え、日本人作品も含む多数の現代アートも展示されており、全てを見ようとすると丸1日あっても足りないくらいです。



←: 常設展も充実  
(20世紀初頭美術の展示)  
↓: 日本人アーティスト奈良美智さんの作品も展示

↓: 3つの建物をつなぐ斬新なデザインの地下通路



またBayou沿いには美術館の別館としてBayou Bend Collection and Gardensという場所があり、素敵なお庭や映画にでも出てきそうな古いお屋敷を楽しむことができます。(現在、修繕のため閉鎖中)

#### The Houston Museum of Natural Science

HMNSもダウンタウンにあり、Hermann Parkの北端に位置しています。MFAHからも近く、徒歩でもすぐ着きます。展示内容は恐竜の化石から動物の標本、古代エジプトや中南米の考古学資料、果ては貝や鉱物、宝石のコレクションまで揃っており、やや雑然としていますが、いろいろなことを幅広く知ることに向いています。常設展とは別料金になりますが、プラネタリウムや蝶の生態展示もあります。また毎日フーコーの振り子を展示しているのも科学マニアにはたまりません。子供向けの科学教室も開催していますので、ファミリー向けにもオススメの場所です。



↑: 恐竜の化石は迫力満点

←: 自然の不思議。形も色も様々な鉱石たち。



テキサスの動物たちを再現: →

#### メンバーシップのその他の活用法



上では単純に「3回行けば元が取れる」という書き方でメンバーシップをオススメしましたが、お金だけではない他のメリットも存在します。例えば1回限りのチケットを買った場合「全部見ないと損だ」という気持ちになって、無理して館内を歩き回って疲れるということがあるかもしれません。会員になっておけば何度でも来られるので「今日はこれ」と決めた特定のコーナーだけ見て済ませることができます。別の用事でダウンタウンまで来て、ちょっと時間が余ったという時にも役立ちます。

さらに人によっては何度でも見たいお気に入りの展示があるかもしれません。「印象派の絵を見て心をリラックスさせる」「恐竜の化石を見てやる気を出す」「疲れたときは宝石を見てうっとりしたい」など、自分に合ったお気に入りのスポットを作れるというのもメンバーシップの魅力です。

#### さらなる高みも

UPGRADE

ここまで一括りに「メンバーシップ」と述べてきましたが、実はメンバーシップにもいろいろな種類があります。表1にもあるように、個人向けとファミリー向けがある他、カップル向けのDualというのがあります。さらに上級のグレードも存在しており、MFAHの場合、Patron (年会費\$200、以下同様)、Supporting (\$350)、Sponsor (\$800)、Benefactor (\$1,500)の順にアップグレードし、それに応じて特典も増えていきます。

ただ、ここまで来ると「特典があるからメンバーになる」というよりも、美術館を応援したいという気持ちやステータスを獲得したいという見栄が主な動機になっているように思います。「俺、美術館のパトロンなんだぜ」と言って自慢したい方は是非、\$200払って上級グレードに応募してください。

(文責: 編集部)